

授業の心理学学習指導案

授業者 石塚・新村・菅原

- 1、題材名 自己効力感
- 2、ねらい 自己効力感を理解し、自分の中で起こっている心理状態の変化に感心を持つことが出来る。さらに、日常の中での不安または自分自身と向き合うことができるようになる。

時間	学習活動	主な発問()と予想される生徒の反応(・)	支援()と評価()
導入 5分	今日の活動を理解する。	皆は、「自分はできるんだ」って思ったら本当にできるようになった経験ってないですか？	自己効力感について簡単に説明する。
展開 10分	紙人形劇を見る。	これから、みんなに紙人形劇を見てもらいます。その中で、「なおみちゃん」という主人公が出てきますが、「なおみちゃん」がどのように変わっていくか注目しながら見てください。	紙人形劇用意する。
終末 5分	自己効力感について理解する。	なおみちゃんの気持ちの動き方を皆でおさらいしてみよう。	紙人形劇の主人公がどのように心理変化していったかを考えながら、自己効力感について説明する。

紙人形劇の内容

TV番組「あいのり」のパロディー。主人公であるナオミちゃんは、男の人とあまり話したことがなく、恋もしたことがない。そんなナオミちゃんは「あいのり」に参加して、同じ参加者の光一君のことを好きになる。ナオミちゃんは光一君と仲良くなりたと思うが、うまくいかず、自分は恋愛に向いていないと感じてしまう（自己効力感の低下）。

自分と同年で、同じ奥手なタイプのサヤカちゃんが、好意を寄せている剛君に勇気を出して話しかけ親しげにしているのを見た。そしてナオミちゃんは“サヤカちゃんにもできたんだから私にもできるはず”と思い、光一君に話しかけることを決心する（モデリング）。

ナオミちゃんはドキドキしながら（生理的指標）光一君に話しかけた。うまく話すことができ（成功体験）光一君と仲良くなれ、ナオミちゃんは、もっと光一君と仲良くなりたと思うようになった。しかしなかなか、二人の仲を進展させるような出来事がなかった。

そんなナオミちゃんを見かねた、友だちの恋愛マスターのクミちゃんがナオミちゃんを励

ましてくれる。クミちゃんに励まされることによって、ナオミちゃんは自分と向き合うことが出来、「自分ならできるはず！」と自分に自信を持つことが出来た（社会的説得により自己効力感が高まる）。

その後、ナオミちゃんはドキドキすることなく光一君とコミュニケーションを取れるようになった（生理的指標の変化）。そして自分に自信が持てるようになり、光一君と二人でデートするようになった。この先二人を待ち受ける運命は！？二人は無事に日本に帰ることができるのだろうか！？あいのりの旅は続く。

参考文献

Schunk,D.H. (2004). Learning theories : An educational perspective. Prentice Hall.